

# 「ヒヤリ・ハット」の経験談を募集します！

## ～ 昨年、宮代町シルバー人材センターで人身事故が発生しました ～

高所作業中に脚立から落下したものです。30日の入院となりました。状況からみて死亡に繋がっても不思議ではない重大事故でした。

表1 重篤事故の年度別発生状況 (重篤事故＝死亡又は6カ月以上の入院)

区分 年度	就業中			就業途上			総件数		
	死亡	入院	小計	死亡	入院	小計	死亡	入院	合計
27年度	15(1)	5(0)	20(1)	4(3)	5(3)	9(6)	19(4)	10(3)	29(7)
28年度	15(4)	6(1)	21(5)	4(3)	3(1)	7(4)	19(7)	9(2)	28(9)
29年度	22(0)	10(0)	32(0)	11(3)	3(1)	14(4)	33(3)	13(1)	46(4)
30年度	29(3)	8(1)	37(4)	14(4)	2(0)	16(4)	43(7)	10(1)	53(8)
元年度	12(2)	9(3)	21(5)	2(0)	10(1)	16(1)	18(2)	19(4)	37(6)
2年度	9(0)	10(0)	19(0)	6(3)	1(1)	7(4)	15(3)	11(1)	26(4)

※1 ( )の数字は女性で内数  
※2 令和2年度は、11月末までの件数である。

左の表は全国のシルバー人材センター内での重大事故の一覧です。

令和元年（2019年）で18名の方が亡くなっています。

## ～～ヒヤリ・ハット集を作ります～～

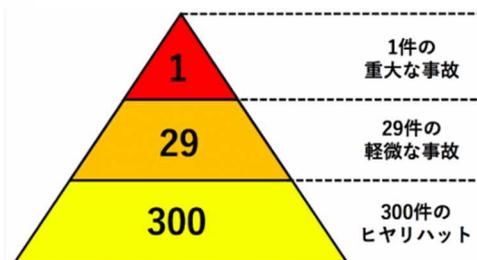
アメリカの「ハインリッヒ」が、重大事故の裏には、事故には至らなかった「ヒヤッとした」「ハッとした」事例が300件あると主張しています。

「1：29：300」これを<ハインリッヒの法則>といいます。

車の運転や一般作業中に「ヒヤッとした」「ハッとした」経験は誰にもあると思います。

**あなたが経験した「ヒヤリ・ハット」は貴重な経験です。この経験を集めて「ヒヤリ・ハット集」を作り、誰もが閲覧できるようにします。**

シルバー通信と同時配布の「ヒヤリ・ハット報告書」にご自身の経験を記入し事務所に提出して下さい。(個人情報とは公開されません)



安全適正就業委員会では、会員の皆様が経験された「ヒヤリ・ハット」を集め、見えない危険要因を発掘し、安全作業をしていただく指針を作成したいと考えております。(委員長 梅澤俊雄)